

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条第 1 項

【提出先】 東北財務局長

【提出日】 平成27年 3 月30日

【事業年度】 第11期(自 平成26年 1 月 1 日 至 平成26年12月31日)

【会社名】 南部富士株式会社

【英訳名】 —

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 森 澤 良 久

【本店の所在の場所】 岩手県八幡平市大更第47地割34番地 2

【電話番号】 0195 - 76 - 3151

【事務連絡者氏名】 代表取締役社長 森 澤 良 久

【最寄りの連絡場所】 岩手県八幡平市大更第47地割34番地 2

【電話番号】 0195 - 76 - 3151

【事務連絡者氏名】 代表取締役社長 森 澤 良 久

【縦覧に供する場所】 該当事項はありません。

第一部 【企業情報】

第 1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第 7 期	第 8 期	第 9 期	第10期	第11期
決算年月	平成22年12月	平成23年12月	平成24年12月	平成25年12月	平成26年12月
売上高 (千円)	72,000	58,000	62,000	72,000	72,000
経常利益 (千円)	7,410	12,173	14,332	24,446	25,972
当期純利益 (千円)	4,244	7,140	8,451	15,143	16,135
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	—	—	—	—	—
資本金 (千円)	283,011	283,011	283,011	283,011	283,011
発行済株式総数 (株)	43,500	43,500	43,500	43,500	43,500
純資産額 (千円)	604,288	611,429	619,880	635,024	651,160
総資産額 (千円)	800,136	788,807	775,615	770,052	764,351
1株当たり純資産額 (円)	13,891.69	14,055.85	14,250.14	14,598.27	14,969.21
1株当たり配当額 (円)	—	—	—	—	—
1株当たり中間配当額 (円)	—	—	—	—	—
1株当たり当期純利益金額 (円)	97.59	164.16	194.29	348.13	370.93
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 (円)	—	—	—	—	—
自己資本比率 (%)	75.5	77.5	79.9	82.5	85.2
自己資本利益率 (%)	0.71	1.18	1.37	2.43	2.51
株価収益率 (倍)	—	—	—	—	—
配当性向 (%)	—	—	—	—	—
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	12,587	24,313	20,439	26,476	24,895
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	2,480	1,582	2,213	5,018	1,746
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	22,680	22,680	22,680	23,220	21,600
現金及び現金同等物の期末残高 (千円)	14,015	14,066	9,612	7,851	9,400
従業員数 (名)	—	—	—	—	—

- (注) 1 当社は連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社がないため記載しておりません。
- 4 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
- 5 株価収益率については、当社株式は非上場であるため、記載しておりません。

2 【沿革】

年 月	事 項
平成16年 4 月	株式会社南部富士カントリークラブのゴルフ場の資産及び負債を承継し、会社分割により設立

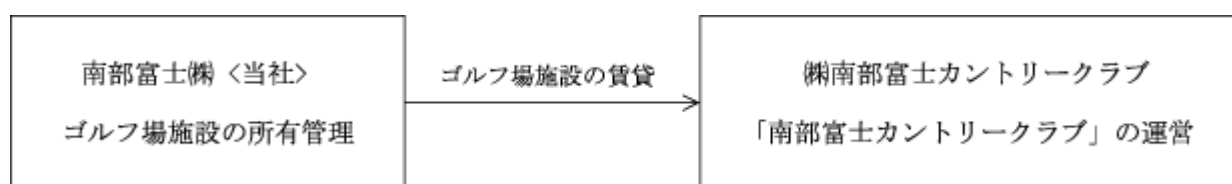
(注) 当社設立の経緯について

会社分割による当社の設立は、当社の親会社である株式会社南部富士カントリークラブが所有する預託金会員制の南部富士カントリークラブに、株主会員制を導入することを目的として行われたものであります。

南部富士カントリークラブの預託金会員は、株式会社南部富士カントリークラブに対する預託金を株式会社南部富士カントリークラブが所有する当社株式と交換することで南部富士カントリークラブの株主会員となります。なお、南部富士カントリークラブの会員組織は、当社の株主である会員と株式会社南部富士カントリークラブの預託金会員とで構成されます。

3 【事業の内容】

当社グループは、当社及び親会社である株式会社南部富士カントリークラブで構成され、当社はゴルフ場施設の所有管理を行っております。親会社の株式会社南部富士カントリークラブは当社からゴルフ場施設を賃借し、「南部富士カントリークラブ」の運営を行っております。



4 【関係会社の状況】

名称	住所	資本金 (千円)	主要な事業 の内容	議決権の 被所有割合 (%)	関係内容
(親会社) 株式会社南部富士 カントリークラブ	岩手県八幡平市	83,000	ゴルフ場・ゴルフ練習場等の経営及びスポーツ用品の販売・加工	66.7	役員の兼任2名 ゴルフ場施設の賃借 担保の提供 経理事務等管理業務の委託

(注) 有価証券届出書又は有価証券報告書を提出している会社はありません。

5 【従業員の状況】

(1) 提出会社の状況

平成26年12月31日現在

従業員数(名)	平均年齢(歳)	平均勤続年数(年)	平均年間給与(円)
—	—	—	—

(注) 当社は、南部富士カントリークラブの運営会社であります株式会社南部富士カントリークラブに経理及び株式に関する事務並びに資産管理に関する業務を委託しているため、従業員はおりません。

(2) 労働組合の状況

労働組合は結成されておられません。

第2 【事業の状況】

1 【業績等の概要】

(1) 業績

当事業年度におけるわが国経済は、政府による経済対策や日本銀行の金融緩和策を背景に企業収益や設備投資に改善が見られ、緩やかな回復基調にあるものの、消費税増税後の個人消費の落ち込み、需要の反動や世界経済の減速など先行き不透明な状況で推移しました。

ゴルフ場業界におきましても、近年の健康志向、若手トッププロの国内外での活躍等により、ゴルフへの関心は高まりつつありますが、少子高齢化によるゴルフ人口の減少、プレー回数の低下が進んでおり、さらにはプレー料金の低価格化も伴い、非常に厳しい環境下にあります。

このような状況の中、当ゴルフ場の運営会社であります株式会社南部富士カントリークラブにおきましては、平成28年開催の岩手国体に向けて、引き続きフェアウェイの芝種を耐暑性のある野芝に変更するなどし、プレー環境の改善に努めてまいりました。今後もより一層ご満足いただける良質なサービスの提供、コース整備に取り組んでまいりたいと考えております。

営業面においては、売上高が72,000千円(前年同額)となりました。利益面では、施設用消耗品費の減少などにより営業利益29,508千円(前年対比2.5%増)、経常利益25,972千円(前年対比6.2%増)、当期純利益16,135千円(前年対比6.5%増)となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税引前当期純利益25,972千円及び減価償却費8,773千円により、24,895千円の収入(前事業年度は26,476千円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出1,746千円により、1,746千円の支出(前事業年度は5,018千円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出21,600千円により、21,600千円の支出(前事業年度は23,220千円の支出)となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の期末残高は、前事業年度末に比べ1,549千円増加し、9,400千円となりました。

2 【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

該当事項はありません。

(2) 受注実績

該当事項はありません。

(3) 販売実績

当事業年度の販売実績は、次に示すゴルフ場施設の賃貸料であります。

売上区分	金額(千円)	前年同期比(%)
施設賃貸料	72,000	100.0
計	72,000	100.0

(注) 1 販売実績は、消費税等は含んでおりません。

2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前事業年度		当事業年度	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
(株)南部富士カントリークラブ	72,000	100.0	72,000	100.0

3 【対処すべき課題】

平成26年度は平成25年度に引き続き野芝への大幅な改修、回復作業を実施いたしました。今後ともゴルフ場としてコースの資産価値を高め、ご来場の皆様方からご満足いただくことを最優先課題として、施設の充実等コース管理に努力する所存であります。

4 【事業等のリスク】

当社の経営成績及び財務状況等に影響を及ぼす可能性のある事項には以下のようなものがあります。なお、文中における将来に関する事項は、当事業年度末現在において当社が判断したものであります。

重要事象等について

当社の収入は親会社である株式会社南部富士カントリークラブからのゴルフ場施設賃貸料であり、また、当社は同社の借入金に対して担保を提供していることから、当社の経営成績及び財政状況は、親会社である株式会社南部富士カントリークラブに依存しております。親会社は、営業利益段階において前事業年度(平成25年12月期)は17,127千円、当事業年度(平成26年12月期)は9,153千円の営業損失を計上しましたが、当事業年度(平成26年12月期)の経常利益は184千円の経常黒字に転換し、改善の兆しが見えております。しかし、平成26年12月31日現在において償還期限が到来している長期預り金残高881,160千円があるほか、財務活動におけるキャッシュ・フロー支出をまかなうだけの営業活動によるキャッシュ・フローを獲得できておらず、現時点で平成27年度下期以降の資金繰り予想は不透明な状況で、金融機関融資、スポンサー企業からの出資等、多様な資金調達方法を検討しております。これらの状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる状況が存在しております。

5 【経営上の重要な契約等】

特記すべき事項はありません。

6 【研究開発活動】

該当事項はありません。

7 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当事業年度末現在において当社が判断したものであります。

(1) 財政状態の分析

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べ1,325千円増加し、9,927千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ7,026千円減少し、754,423千円となりました。これは主に、減価償却による有形固定資産の減少によるものであります。

以上の結果、資産合計は、前事業年度末に比べ5,701千円減少し、764,351千円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べ237千円減少し、30,491千円となりました。これは主に、未払法人税等の減少によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ21,600千円減少し、82,700千円となりました。これは、長期借入金の減少によるものであります。

以上の結果、負債合計は、前事業年度末に比べ21,837千円減少し、113,191千円となりました。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べ16,135千円増加し、651,160千円となりました。これは、当期純利益の計上によるものであります。

(2) 経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

「1 業績等の概要」「(1)業績」及び「(2)キャッシュ・フローの状況」に記載しております。

(3) 重要事象等について

当社の経営成績及び財政状況は、親会社である株式会社南部富士カントリークラブに依存しております。親会社は、営業利益段階において前事業年度(平成25年12月期)は17,127千円、当事業年度(平成26年12月期)は9,153千円の営業損失を計上しましたが、当事業年度(平成26年12月期)の経常利益は184千円の経常黒字に転換し、改善の兆しが見えております。

しかし、平成26年12月31日現在において償還期限が到来している長期預り金残高881,160千円があるほか、財務活動におけるキャッシュ・フロー支出をまかなうだけの営業活動によるキャッシュ・フローを獲得できておらず、現時点で平成27年度下期以降の資金繰り予想は不透明な状況で、金融機関融資、スポンサー企業からの出資等、多様な資金調達方法を検討しております。これらの状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる状況が存在しております。

親会社は、当該状況を解消すべく入場者増加による営業収入のさらなる増加、経費の一層の合理化推進を骨子とした経営計画に加え、子会社保有資産の有効活用によるグループ一体となった経営改善を実施し、収益力と資金調達力の強化を図ることを検討する途上にあります。償還期限が到来した長期預り金の返還請求に対する対応策も別途検討しておりますが、現時点では、いずれも機関決定されておらず、また、その成否も不明の状況です。よって、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められるため、当社においても親会社の状況によっては、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

第3 【設備の状況】

1 【設備投資等の概要】

当事業年度における設備投資の総額は1,746千円であり、その主な内容はクラブハウス火災報知器設備、中古ゴルフカート4台を更新したものであります。

2 【主要な設備の状況】

平成26年12月31日現在の設備は次の状況となっております。

所在地 岩手県八幡平市及び岩手県盛岡市
 ゴルフコース 27ホールズ

事業所名	設備の内容	帳簿価額(千円)						
		土地 (面積千㎡)	建物	構築物	機械及び装置	車両運搬具	工具器具備品	合計
南部富士カントリークラブ	ゴルフ場	691,948 (1,147)	48,162	12,148	1,335	540	248	754,384

- (注) 1 上記設備全部を、平成16年4月2日を賃貸開始日として株式会社南部富士カントリークラブに賃貸しております。
- 2 親会社である株式会社南部富士カントリークラブが事務処理を行っているため、従業員はおりません。

3 【設備の新設、除却等の計画】

特記すべき事項はありません。

第4 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	174,000
計	174,000

【発行済株式】

種類	事業年度末現在 発行数(株) (平成26年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成27年3月30日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	43,500	43,500	非上場	単元株制度を採用していない ため、単元株式数はない。 (注)
計	43,500	43,500	—	—

(注) 株式に譲渡制限を設けております。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成16年4月2日(注)	43,500	43,500	283,011	283,011	282,926	282,926

(注) 株式会社南部富士カントリークラブを分割会社とする会社分割(新設分割)により設立。

発行価格 13,010円 資本組入額 6,506円

(6) 【所有者別状況】

平成26年12月31日現在

平成26年12月31日現在

区分	株式の状況							単元未満 株式の状況 (株)	
	政府及び 地方公共 団体	金融機関	金融商品 取引業者	その他の 法人	外国法人等		個人 その他		計
					個人以外	個人			
株主数(人)	—	5	—	149	—	—	1,064	1,218	—
所有株式数 (株)	—	168	—	31,764	—	—	11,568	43,500	—
所有株式数 の割合(%)	—	0.39	—	73.02	—	—	26.59	100.00	—

(注) 当社は、単元株制度は採用しておりません。

(7) 【大株主の状況】

平成26年12月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社南部富士カントリークラブ	岩手県八幡平市大更47 - 34 - 2	29,031	66.74
森澤 良久	岩手県盛岡市	375	0.86
成島 忠好	岩手県盛岡市	84	0.19
八角 有紀	岩手県盛岡市	80	0.18
株式会社岩手銀行	岩手県盛岡市中央通 1 - 2 - 3	78	0.18
岩手トヨペット株式会社	岩手県盛岡市上田 2 - 19 - 40	70	0.16
ネットヨタ岩手株式会社	岩手県盛岡市東仙北 2 - 13 - 35	70	0.16
土谷 正彦	岩手県八幡平市	70	0.16
株式会社アイピーシー岩手放送	岩手県盛岡市志家町 6 - 1	64	0.15
菱和建设株式会社	岩手県盛岡市みたけ 1 - 6 - 30	60	0.14
計	—	29,982	68.92

(8) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	—	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 43,500	43,500	—
単元未満株式	—	—	—
発行済株式総数	43,500	—	—
総株主の議決権	—	43,500	—

【自己株式等】

平成26年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
—	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—

(9) 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

2 【自己株式の取得等の状況】

【株式の種類等】 該当事項はありません。

(1) 【株主総会決議による取得の状況】

該当事項はありません。

(2) 【取締役会決議による取得の状況】

該当事項はありません。

(3) 【株主総会決議又は取締役会決議に基づかないものの内容】

該当事項はありません。

(4) 【取得自己株式の処理状況及び保有状況】

該当事項はありません。

3 【配当政策】

当社は、利益配分につきましては、利益の内部留保により当ゴルフ場のコースコンディションの維持管理に努め、株主の皆様南部富士カントリークラブでのより良い快適なプレー環境を提供することで、利益の還元を図っていくことを基本方針としているため、配当は実施しておりません。

なお、当社の定款は、期末配当として剰余金の配当ができる旨を定めており、剰余金の配当の決定機関は株主総会であります。

4 【株価の推移】

当社株式は非上場のため該当事項はありません。

5 【役員の状況】

役名	職名	氏名	生年月日	略歴		任期	所有株 式数 (株)
代表取締役	社長	森澤 良久	昭和17年 8 月22日	昭和47年 4 月 平成 3 年 3 月 平成 7 年 3 月 平成16年 4 月 平成19年 2 月 平成23年 3 月	㈱南部富士カントリークラブ取締役 ㈱モリサワスポーツ代表取締役社長 ㈱南部富士カントリークラブ取締役副社長 当社代表取締役社長(現任) モリサワ S P ㈱代表取締役(現任) ㈱南部富士カントリークラブ代表取締役副 社長(現任)	(注) 5	375
取締役		森澤 寿夫	大正13年 1 月 1 日	昭和47年 4 月 平成 3 年 3 月 平成16年 4 月	㈱南部富士カントリークラブ代表取締役社 長(現任) ㈱モリサワスポーツ代表取締役会長 当社取締役(現任)	(注) 5	35
取締役		大西 久光	昭和12年 2 月10日	昭和53年 1 月 平成11年 5 月 平成14年 3 月 平成16年 4 月 平成17年 3 月	㈱南部富士カントリークラブ取締役 ㈱ターゲットパートナー代表取締役(現任) ㈱サイプレスゴルフクラブ代表取締役(現 任) 当社監査役 当社取締役(現任)	(注) 5	15
取締役		八角 有紀	昭和50年 9 月 4 日	平成 7 年 8 月 平成21年 3 月 平成21年 4 月 平成21年 4 月 平成23年 3 月	医療法人日新堂理事 医療法人日新堂八角医院院長(現任) 医療法人日新堂理事長(現任) 社会福祉法人日新福祉会理事長(現任) 当社取締役(現任)	(注) 5	80
取締役		森澤 倫典	昭和48年10月19日	平成19年 2 月 平成22年 4 月 平成25年 3 月	モリサワ S P ㈱取締役(現任) ㈱南部富士カントリークラブ総務部長(現 任) 当社取締役(現任)	(注) 5	10
監査役		坂井 博毅	昭和11年 6 月27日	昭和46年10月 平成 2 年 1 月 平成17年 3 月	坂井医院 院長(現任) 医療法人 博理会理事長 当社監査役(現任)	(注) 6	10
監査役		村川 充剛	昭和16年 8 月28日	昭和53年 5 月 平成17年 3 月	㈲ムラカワ 代表取締役 当社監査役(現任)	(注) 6	14
計							539

- (注) 1 取締役 森澤寿夫は、代表取締役 森澤良久の義父であります。
2 取締役 大西久光は、代表取締役 森澤良久の実兄であります。
3 取締役 森澤倫典は、代表取締役 森澤良久の義子であります。
4 監査役 坂井博毅及び村川充剛は社外監査役であります。
5 平成27年 3 月27日開催の定時株主総会の終結の時から 2 年間
6 平成25年 3 月28日開催の定時株主総会の終結の時から 4 年間

6 【コーポレート・ガバナンスの状況等】

(1) 【コーポレート・ガバナンスの状況】

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は、当社の親会社である株式会社南部富士カントリークラブが所有する預託金会員制の南部富士カントリークラブに株主会員制を導入することを目的として、平成16年4月2日に株式会社南部富士カントリークラブのゴルフ場の資産及び負債を承継し、会社分割により設立いたしました。

当社の主たる株主は、南部富士カントリークラブにおける優先的なプレー権を有するとともに、当社の株主として経営に参加していただくこととなりますので、コーポレート・ガバナンスの充実が重要な課題であると認識し、透明性が高く効率的かつ健全な経営を行うことに努めております。

会社の機関の内容及び内部統制システムの整備の状況

当社の取締役会は5名で構成され、取締役会において経営に関する基本方針の決定を行うとともに、必要に応じて常勤取締役会議を開催し、基本方針に基づく業務執行が円滑に実行できる体制としております。

当社の監査役2名はいずれも社外監査役であります。監査役は、取締役の職務執行を監督するために、取締役会に出席するほか、必要に応じて取締役から職務の執行状況を聴取しております。

また、当社は、事務処理を親会社に委託しており従業員がおりませんので、内部監査部門は設けておりませんが、取締役会及び監査役による取締役の業務執行の監督、また、公認会計士の監査により、当社にとって必要と考えられる統制環境が整備されております。

社外監査役との関係

監査役坂井博毅及び監査役村川充剛は、それぞれ当社の株式を10株、14株所有しておりますが、当社との取引関係その他の利害関係はありません。

会計監査の状況

当社は、公認会計士北野参則及びシティア公認会計士共同事務所と金融商品取引法に基づく監査契約を締結しております。当社の監査を担当した公認会計士は北野参則及びシティア公認会計士共同事務所に所属する中村勝典であります。また、当事業年度における監査意見表明にあたり他の公認会計士へ意見審査を依頼しております。

役員報酬の内容

当社の役員報酬は、取締役に対する報酬は4,200千円であり、監査役は無報酬であります。

取締役の定数

当社の取締役は5名以内とする旨定款に定めております。

取締役選任の決議要件

当社は、取締役の選任決議について、議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の過半数をもって行う旨定款に定めております。また、取締役の選任決議は、累積投票によらないものとする旨定款に定めております。

株主総会の特別決議要件

当社は、会社法第309条第2項に定める株主総会の特別決議要件について、議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の3分の2以上をもって行う旨定款に定めております。これは、株主総会における特別決議の定足数を緩和することにより、株主総会の円滑な運営を行うことを目的とするものであります。

(2) 【監査報酬の内容等】

【監査公認会計士等に対する報酬の内容】

前事業年度		当事業年度	
監査証明業務に基づく報酬 (千円)	非監査業務に基づく報酬 (千円)	監査証明業務に基づく報酬 (千円)	非監査業務に基づく報酬 (千円)
2,600	—	2,600	—

【その他重要な報酬の内容】

該当事項はありません。

【監査公認会計士等の提出会社に対する非監査業務の内容】

該当事項はありません。

【監査報酬の決定方針】

該当事項はありません。

第5 【経理の状況】

1 財務諸表の作成方法について

当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)に基づいて作成しております。

なお、当事業年度(平成26年1月1日から平成26年12月31日まで)の財務諸表に含まれる比較情報については、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成24年9月21日内閣府令第61号)附則第2条第2項により、改正前の財務諸表等規則に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、事業年度(平成26年1月1日から平成26年12月31日まで)の財務諸表について、公認会計士 北野参則、シティア公認会計士共同事務所 公認会計士 中村勝典により監査を受けております。

3 連結財務諸表について

当社は、子会社がありませんので、連結財務諸表を作成しておりません。

1 【財務諸表等】

(1) 【財務諸表】

【貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当事業年度 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,851	9,400
前払費用	86	-
繰延税金資産	665	527
流動資産合計	8,602	9,927
固定資産		
有形固定資産		
建物	145,234	145,684
減価償却累計額	92,528	97,521
建物（純額）	¹ 52,705	¹ 48,162
構築物	123,203	123,203
減価償却累計額	108,766	111,055
構築物（純額）	14,437	12,148
機械及び装置	25,809	25,809
減価償却累計額	24,053	24,473
機械及び装置（純額）	1,755	1,335
車両運搬具	3,112	4,408
減価償却累計額	3,054	3,868
車両運搬具（純額）	57	540
工具、器具及び備品	15,362	15,362
減価償却累計額	14,855	15,113
工具、器具及び備品（純額）	506	248
土地	¹ 691,948	¹ 691,948
有形固定資産合計	761,410	754,384
投資その他の資産		
出資金	39	39
投資その他の資産合計	39	39
固定資産合計	761,450	754,423
資産合計	770,052	764,351
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	¹ 21,600	¹ 21,600
未払金	246	246
未払法人税等	7,314	5,866
未払消費税等	1,402	2,624
未払費用	65	54
預り金	100	100
流動負債合計	30,728	30,491
固定負債		
長期借入金	¹ 104,300	¹ 82,700
固定負債合計	104,300	82,700
負債合計	135,028	113,191
純資産の部		
株主資本		
資本金	283,011	283,011
資本剰余金		
資本準備金	282,926	282,926
資本剰余金合計	282,926	282,926

利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	69,086	85,222
利益剰余金合計	69,086	85,222
株主資本合計	635,024	651,160
純資産合計	635,024	651,160
負債純資産合計	770,052	764,351

【損益計算書】

	(単位：千円)	
	前事業年度 (自 平成25年 1 月 1 日 至 平成25年12月31日)	当事業年度 (自 平成26年 1 月 1 日 至 平成26年12月31日)
売上高	1 72,000	1 72,000
売上原価	20,063	18,914
売上総利益	51,936	53,085
販売費及び一般管理費	1, 2 23,160	1, 2 23,576
営業利益	28,775	29,508
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	0	0
賃貸収入	174	190
雑収入	0	0
営業外収益合計	177	191
営業外費用		
支払利息	4,506	3,728
営業外費用合計	4,506	3,728
経常利益	24,446	25,972
税引前当期純利益	24,446	25,972
法人税、住民税及び事業税	9,556	9,698
法人税等調整額	253	137
法人税等合計	9,303	9,836
当期純利益	15,143	16,135

【売上原価明細書】

		前事業年度 (自 平成25年 1 月 1 日 至 平成25年12月31日)		当事業年度 (自 平成26年 1 月 1 日 至 平成26年12月31日)	
	注記 番号	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
賃貸原価					
減価償却費		8,889	44.3	8,773	46.4
租税公課		9,725	48.5	9,699	51.3
その他		1,448	7.2	441	2.3
合計		20,063	100.0	18,914	100.0

【株主資本等変動計算書】

前事業年度(自 平成25年 1 月 1 日 至 平成25年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本						純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金	利益剰余金 合計		
				繰越利益 剰余金			
当期首残高	283,011	282,926	282,926	53,943	53,943	619,880	619,880
当期変動額							
当期純利益				15,143	15,143	15,143	15,143
当期変動額合計	—	—	—	15,143	15,143	15,143	15,143
当期末残高	283,011	282,926	282,926	69,086	69,086	635,024	635,024

当事業年度(自 平成26年 1 月 1 日 至 平成26年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本						純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金	利益剰余金 合計		
				繰越利益 剰余金			
当期首残高	283,011	282,926	282,926	69,086	69,086	635,024	635,024
当期変動額							
当期純利益				16,135	16,135	16,135	16,135
当期変動額合計	—	—	—	16,135	16,135	16,135	16,135
当期末残高	283,011	282,926	282,926	85,222	85,222	651,160	651,160

【キャッシュ・フロー計算書】

	(単位：千円)	
	前事業年度 (自 平成25年 1 月 1 日 至 平成25年12月31日)	当事業年度 (自 平成26年 1 月 1 日 至 平成26年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	24,446	25,972
減価償却費	8,889	8,773
受取利息及び受取配当金	2	1
支払利息	4,506	3,728
未払消費税等の増減額（ は減少）	122	1,222
その他	1,113	25
小計	36,848	39,669
利息及び配当金の受取額	2	1
利息の支払額	4,332	3,653
法人税等の支払額	6,042	11,121
営業活動によるキャッシュ・フロー	26,476	24,895
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	5,018	1,746
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,018	1,746
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	23,220	21,600
財務活動によるキャッシュ・フロー	23,220	21,600
現金及び現金同等物の増減額（ は減少）	1,761	1,549
現金及び現金同等物の期首残高	9,612	7,851
現金及び現金同等物の期末残高	1 7,851	1 9,400

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

当社の経営成績及び財政状況は、親会社である株式会社南部富士カントリークラブに依存しております。親会社は、営業利益段階において前事業年度（平成25年12月期）は17,127千円、当事業年度（平成26年12月期）は9,153千円の営業損失を計上しましたが、当事業年度(平成26年12月期)の経常利益は、184千円の経常黒字に転換し、改善の兆しが見えております。

しかし、平成26年12月31日現在において償還期限が到来している長期預り金残高881,160千円があるほか、財務活動におけるキャッシュ・フロー支出をまかなうだけの営業活動によるキャッシュ・フローを獲得できておらず、現時点で平成27年度下期以降の資金繰り予想は不透明な状況で、金融機関融資、スポンサー企業からの出資等、多様な資金調達方法を検討しております。これらの状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる状況が存在しております。

親会社は、当該状況を解消すべく入場者増加による営業収入のさらなる増加、経費の一層の合理化推進を骨子とした経営計画に加え、子会社保有資産の有効活用によるグループ一体となった経営改善を実施し、収益力と資金調達力の強化を図ることを検討する途上にあります。償還期限が到来した長期預り金の返還請求に対する対応策も別途検討しておりますが、現時点では、いずれも機関決定されておらず、また、その成否も不明の状況です。よって、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められるため、当社においても親会社の状況によっては、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、財務諸表は継続企業を前提として作成されており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を財務諸表に反映しておりません。

(重要な会計方針)

1 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法によっております。但し、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備は除く)については、定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物 3年～38年

構築物 6年～22年

機械及び装置 3年～17年

車両運搬具 2年～3年

工具器具備品 2年～6年

2 キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

キャッシュ・フロー計算書における資金(現金及び現金同等物)は、随時引き出し可能な預金であります。

3 その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項

消費税等の処理方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

(貸借対照表関係)

1 担保に供している資産及び対応する債務は次のとおりであります。

(1) 担保提供資産

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当事業年度 (平成26年12月31日)
土地	691,948千円	691,948千円
建物	30,845千円	28,327千円
計	722,794千円	720,275千円

(2) 上記に対応する債務

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当事業年度 (平成26年12月31日)
1年内返済予定の長期借入金	21,600千円	21,600千円
長期借入金	104,300千円	82,700千円
計	125,900千円	104,300千円

(前事業年度)

上記の資産は、親会社の借入金187,972千円の担保に供しております。

(当事業年度)

上記の資産は、親会社の借入金182,294千円の担保に供しております。

(損益計算書関係)

- 1 関係会社との取引にかかるものが次のとおり含まれております。

	前事業年度 (自 平成25年 1月 1日 至 平成25年12月31日)	当事業年度 (自 平成26年 1月 1日 至 平成26年12月31日)
売上高	72,000千円	72,000千円
販売費及び一般管理費	9,600千円	9,600千円

- 2 販売費及び一般管理費の主な内容は、次のとおりであります。

	前事業年度 (自 平成25年 1月 1日 至 平成25年12月31日)	当事業年度 (自 平成26年 1月 1日 至 平成26年12月31日)
役員報酬	3,900千円	4,200千円
業務委託費	9,600千円	9,600千円
支払報酬	4,608千円	4,480千円
租税公課	1,485千円	1,343千円
事務用消耗品費	1,054千円	1,540千円

(株主資本等変動計算書関係)

前事業年度(自 平成25年 1月 1日 至 平成25年12月31日)

- 1 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
普通株式(株)	43,500	—	—	43,500

- 2 自己株式の種類及び株式数に関する事項

該当事項はありません。

- 3 新株予約権及び自己新株予約権に関する事項

該当事項はありません。

- 4 配当に関する事項

該当事項はありません。

当事業年度(自 平成26年 1月 1日 至 平成26年12月31日)

- 1 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
普通株式(株)	43,500	—	—	43,500

- 2 自己株式の種類及び株式数に関する事項

該当事項はありません。

3 新株予約権及び自己新株予約権に関する事項

該当事項はありません。

4 配当に関する事項

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前事業年度 (自 平成25年 1 月 1 日 至 平成25年12月31日)	当事業年度 (自 平成26年 1 月 1 日 至 平成26年12月31日)
現金及び預金	7,851千円	9,400千円
計	7,851千円	9,400千円
現金及び現金同等物	7,851千円	9,400千円

(リース取引関係)

該当事項はありません。

(金融商品関係)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、一時的な余剰資金は流動性の高い金融資産で運用しております。また、設備投資資金については、銀行借入(長期)により調達しております。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

借入金は主に設備投資を目的としたものであり、流動性リスク及び金利変動リスクに晒されております。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

流動性リスクの管理

適時に資金繰計画を作成するなどの方法により資金管理を行っております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

前事業年度(平成25年12月31日)

	貸借対照表計上額(千円)	時価(千円)	差額(千円)
現金及び預金	7,851	7,851	-
資産計	7,851	7,851	-
長期借入金(1年内返済予定を含む)	125,900	125,900	-
負債計	125,900	125,900	-

当事業年度(平成26年12月31日)

	貸借対照表計上額(千円)	時価(千円)	差額(千円)
現金及び預金	9,400	9,400	-
資産計	9,400	9,400	-
長期借入金(1年内返済予定を含む)	104,300	104,300	-
負債計	104,300	104,300	-

(注1) 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券に関する事項

資産

(1) 現金及び預金

すべて短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

負債

(1) 長期借入金(1年内返済予定を含む)

変動金利による借入金は短期間で金利を見直しており、時価は帳簿価額と近似することから、当該帳簿価額によっております。

(注2) 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

前事業年度(平成25年12月31日)

	1年以内(千円)
現金及び預金	7,851
合計	7,851

当事業年度(平成26年12月31日)

	1年以内(千円)
現金及び預金	9,400
合計	9,400

(注3) 長期借入金の決算日後の返済予定額

前事業年度(平成25年12月31日)

1年超2年以内 (千円)	2年超3年以内 (千円)	3年超4年以内 (千円)	4年超5年以内 (千円)	5年超 (千円)
21,600	21,600	21,600	21,600	17,900

当事業年度(平成26年12月31日)

1年超2年以内 (千円)	2年超3年以内 (千円)	3年超4年以内 (千円)	4年超5年以内 (千円)	5年超 (千円)
21,600	21,600	21,600	17,900	-

(有価証券関係)

該当事項はありません。

(デリバティブ取引関係)

当社は、デリバティブ取引を全く利用していないため、該当事項はありません。

(退職給付関係)

当社は、退職金制度がないため、該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

(税効果会計関係)

1 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当事業年度 (平成26年12月31日)
繰延税金資産		
未払事業税等	665千円	527千円
繰延税金資産の純額	665千円	527千円

2 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳

法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。

3 法人税等・税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正

「所得税等の一部を改正する法律」(平成26年法律第10号)が平成26年3月31日に公布され、平成26年4月1日以後に開始する事業年度から復興特別法人税が課されないことになりました。これに伴い、繰延税金資産及

び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、平成27年 1 月 1 日に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異については従来 37.2% から 34.8% になります。

この税率変更による影響は軽微であります。

(賃貸等不動産関係)

当社は、岩手県八幡平市に株式会社南部富士カントリークラブに賃貸するゴルフ施設を保有しております。平成25年12月期における当該賃貸等不動産に関する賃貸損益は51,936千円(賃貸収益は売上高、主な賃貸費用は売上原価に計上)であります。平成26年12月期における当該賃貸等不動産に関する賃貸損益は53,085千円(賃貸収益は売上高、主な賃貸費用は売上原価に計上)であります。

また、当該賃貸等不動産の貸借対照表計上額及び期中増減額並びに時価及び当該時価の算定方法は以下のとおりであります。

(単位：千円)

		前事業年度 (自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日)	当事業年度 (自 平成26年1月1日 至 平成26年12月31日)
貸借対照表計上額	期首残高	762,713	759,091
	期中増減額	3,622	6,831
	期末残高	759,091	752,259
期末時価		697,991	691,800

(注1) 貸借対照表計上額は、取得価額から減価償却累計額を控除した金額であります。

(注2) 期中増減額の主な要因は、減価償却による減少であります。

(注3) 時価の算定方法

主として「不動産鑑定評価基準」に基づいた金額であります。

(持分法損益等)

当社は、関連会社がないため、該当事項はありません。

(資産除去債務関係)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、不動産賃貸事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前事業年度(自 平成25年 1 月 1 日 至 平成25年12月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

単一のサービスの区分の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社南部富士カントリークラブ	72,000	不動産賃貸事業

当事業年度(自 平成26年 1 月 1 日 至 平成26年12月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

単一のサービスの区分の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社南部富士カントリークラブ	72,000	不動産賃貸事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

【関連当事者情報】

1 関連当事者との取引

(1) 財務諸表提出会社の親会社及び主要株主(会社等に限る)等

前事業年度(自 平成25年 1 月 1 日 至 平成25年12月31日)

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金又は出資金 (千円)	事業の内容 又は職業	議決権等の所有 (被所有) 割合(%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社 及び法人 主要株主	㈱南部富士カ ントリークラブ	岩手県八 幡平市	83,000	ゴルフ場運 営	被所有 直接 67.3	ゴルフ場の 賃貸等 役員の兼任	ゴルフ場の 賃貸 (注1)	72,000	—	—
							経理事務等 管理業務の 委託 (注2)	9,600	—	—
							担保資産の 提供 (注3)	187,972	—	—

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注) 1 ゴルフ場の賃貸料については、ゴルフ場の所有・管理に係る経費等を勘案し、両者協議のうえ決定しております。
- 2 業務委託料については、委託業務に係る人件費相当額及び諸経費等を勘案し、両者協議のうえ決定しております。
- 3 担保資産の提供は、親会社の金融機関からの借入金に対して、当社が行っているものであります。
- 4 取引金額には消費税等は含んでおりません。

当事業年度(自 平成26年 1 月 1 日 至 平成26年12月31日)

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金又は出資金 (千円)	事業の内容 又は職業	議決権等の所有 (被所有) 割合(%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社 及び法人 主要株主	㈱南部富士カ ントリークラブ	岩手県八 幡平市	83,000	ゴルフ場運 営	被所有 直接 66.7	ゴルフ場の 賃貸等 役員の兼任	ゴルフ場の 賃貸 (注1)	72,000	—	—
							経理事務等 管理業務の 委託 (注2)	9,600	—	—
							担保資産の 提供 (注3)	182,294	—	—

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注) 1 ゴルフ場の賃貸料については、ゴルフ場の所有・管理に係る経費等を勘案し、両者協議のうえ決定しております。
- 2 業務委託料については、委託業務に係る人件費相当額及び諸経費等を勘案し、両者協議のうえ決定しております。
- 3 担保資産の提供は、親会社の金融機関からの借入金に対して、当社が行っているものであります。
- 4 取引金額には消費税等は含んでおりません。

(2)財務諸表提出会社の役員及び主要株主(個人の場合に限る)等
前事業年度(自 平成25年 1 月 1 日 至 平成25年12月31日)

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金又は出資金 (千円)	事業の内容 又は職業	議決権等の所有 (被所有) 割合(%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
役員	森澤良久	—	—	当社代表取締役社長	被所有 直接 0.92	—	当社金融機関借入に対する債務被保証(注1)	125,900	—	—
役員	森澤寿夫	—	—	当社取締役	被所有 直接 0.08	—	当社金融機関借入に対する債務被保証(注1)	125,900	—	—

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注) 1 当社は、金融機関借入に対して代表取締役 森澤良久及び取締役 森澤寿夫より債務保証を受けております。
なお、保証料の支払は行っておりません。
2 取引金額には消費税等は含んでおりません。

当事業年度(自 平成26年 1 月 1 日 至 平成26年12月31日)

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金又は出資金 (千円)	事業の内容 又は職業	議決権等の所有 (被所有) 割合(%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
役員	森澤良久	—	—	当社代表取締役社長	被所有 直接 0.86	—	当社金融機関借入に対する債務被保証(注1)	104,300	—	—
役員	森澤寿夫	—	—	当社取締役	被所有 直接 0.08	—	当社金融機関借入に対する債務被保証(注1)	104,300	—	—

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注) 1 当社は、金融機関借入に対して代表取締役 森澤良久及び取締役 森澤寿夫より債務保証を受けております。
なお、保証料の支払は行っておりません。
2 取引金額には消費税等は含んでおりません。

2 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

株式会社南部富士カントリークラブ(非上場)

(2) 重要な関連会社の要約財務情報

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

前事業年度 (自 平成25年 1 月 1 日 至 平成25年12月31日)	当事業年度 (自 平成26年 1 月 1 日 至 平成26年12月31日)
1 株当たり純資産額 14,598円27銭	1 株当たり純資産額 14,969円21銭
1 株当たり当期純利益金額 348円13銭	1 株当たり当期純利益金額 370円93銭

(注) 1 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1 株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当事業年度 (平成26年12月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	635,024	651,160
普通株式に係る純資産額 (千円)	635,024	651,160
普通株式の発行済株式数 (株)	43,500	43,500
普通株式の自己株式数 (株)	—	—
1 株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数 (株)	43,500	43,500

3 1 株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 平成25年 1 月 1 日 至 平成25年12月31日)	当事業年度 (自 平成26年 1 月 1 日 至 平成26年12月31日)
当期純利益 (千円)	15,143	16,135
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益 (千円)	15,143	16,135
普通株式の期中平均株式数 (株)	43,500	43,500

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

【附属明細表】

【有価証券明細表】

該当事項はありません。

【有形固定資産等明細表】

資産の種類	当期首残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (千円)	当期末残高 (千円)	当期末減価 償却累計額 又は償却累 計額(千円)	当期償却額 (千円)	差引当期末 残高(千円)
有形固定資産							
建物	—	—	—	145,684	97,521	4,992	48,162
構築物	—	—	—	123,203	111,055	2,288	12,148
機械及び装置	—	—	—	25,809	24,473	420	1,335
車両運搬具	—	—	—	4,408	3,868	813	540
工具器具備品	—	—	—	15,362	15,113	257	248
土地	—	—	—	691,948	—	—	691,948
有形固定資産計	—	—	—	1,006,414	252,032	8,773	754,384
無形固定資産	—	—	—	—	—	—	—
長期前払費用	—	—	—	—	—	—	—
繰延資産	—	—	—	—	—	—	—
繰延資産計	—	—	—	—	—	—	—

(注) 有形固定資産の増加額及び減少額がいずれも有形固定資産の総額の100分の5以下であるため、「当期首残高」、「当期増加額」及び「当期減少額」の記載を省略しております。

【社債明細表】

該当事項はありません。

【借入金等明細表】

区分	当期首残高 (千円)	当期末残高 (千円)	平均利率 (%)	返済期限
短期借入金	—	—	—	—
1年以内に返済予定の長期借入金	21,600	21,600	3.2	—
1年以内に返済予定のリース債務	—	—	—	—
長期借入金(1年以内に返済予定のものを除く。)	104,300	82,700	3.2	平成31年10月25日
リース債務(1年以内に返済予定のものを除く。)	—	—	—	—
その他有利子負債	—	—	—	—
合計	125,900	104,300	—	—

- (注) 1 平均利率は、期末借入金残高に対する加重平均利率であります。
2 長期借入金(1年以内に返済予定のものを除く。)の決算日後5年内における返済予定額は以下のとおりであります。

1年超2年以内 (千円)	2年超3年以内 (千円)	3年超4年以内 (千円)	4年超5年以内 (千円)
21,600	21,600	21,600	17,900

【引当金明細表】

該当事項はありません。

【資産除去債務明細表】

該当事項はありません。

(2) 【主な資産及び負債の内容】

現金及び預金

区分	金額(千円)
現金	—
預金	
普通預金	9,400
計	9,400
合計	9,400

(3) 【その他】

該当事項はありません。

第 6 【提出会社の株式事務の概要】

事業年度	1 月 1 日から12月31日まで
定時株主総会	事業年度末日の翌日から 3 ヶ月以内
基準日	12月31日
株券の種類	1 株券 5 株券 10株券 100株券
剰余金の配当基準日	12月31日
1 単元の株式数	—
株式の名義書換え	
取扱場所	岩手県八幡平市大更第47地割34番地 2 南部富士株式会社
株主名簿管理人	—
取次所	—
名義書換手数料	当社所定の金額
新券交付手数料	当社所定の金額
単元未満株式の買取り	
取扱場所	—
株主名簿管理人	—
取次所	—
買取手数料	—
公告掲載方法	官報
株主に対する特典	株主は、南部富士カントリークラブの会員となることができ、優先的に同ゴルフコースの利用ができます。

(注) 当社の株式を譲渡するには、取締役会の承認を要します。

第 7 【提出会社の参考情報】

1 【提出会社の親会社等の情報】

当社は非上場会社のため、該当事項はありません。

2 【その他の参考情報】

当事業年度の開始日から有価証券報告書提出日までの間に、次の書類を提出しております。

(1) 有価証券報告書及びその添付書類

事業年度 第10期(自 平成25年 1 月 1 日 至 平成25年12月31日)平成26年 3 月31日東北財務局長に提出

(2) 半期報告書

中間会計期間 第11期中(自 平成26年 1 月 1 日 至 平成26年 6 月30日)平成26年 9 月29日東北財務局長に提出

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の監査報告書

平成27年 3 月20日

南部富士株式会社
取締役会 御中

北野公認会計士事務所

公認会計士 北 野 参 則

シティア公認会計士共同事務所

公認会計士 中 村 勝 典

私たちは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられている南部富士株式会社の平成26年1月1日から平成26年12月31日までの第11期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、キャッシュ・フロー計算書、重要な会計方針、その他の注記及び附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

私たちの責任は、私たちが実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私たちに財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、私たちの判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、私たちは、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

私たちは、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

私たちは、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、南部富士株式会社の平成26年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する事業年度の経営成績及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

強調事項

継続企業の前提に関する注記に記載のとおり、会社は親会社である株式会社南部富士カントリークラブに依存しており、親会社は、営業利益段階において前事業年度(平成25年12月期)は17,127千円、当事業年度(平成26年12月期)は9,153千円の営業損失を計上しているが、当事業年度(平成26年12月期)の経常利益は、184千円の経常黒字に転換し改善の兆しが見えている。

しかし、平成26年12月31日現在において償還期限が到来している長期預り金残高881,160千円があるほか、財務活動におけるキャッシュ・フロー支出をまかなうだけの営業活動によるキャッシュ・フローを獲得できておらず、現時点で平成27年度下期以降の資金繰り予想は不透明な状況で、金融機関融資、スポンサー企業からの出資等、多様な資金調達方法を検討しているが、現時点では、いずれも機関決定されておらず、また、その成否も不明の状況である。これらの状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しており、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる。なお、当該状況に対する対応策及び重要な不確実性が認められる理由については当該注記に記載されている。財務諸表は継続企業を前提として作成されており、このような重要な不確実性の影響は財務諸表に反映されていない。

利害関係

会社と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は有価証券報告書提出会社が別途保管しております。
- 2 XBRLデータは監査の対象には含まれていません。